

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスこえだ		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に沿った活動プログラムを提供しています。	個別支援計画の中で特性に応じたオーダーメイドの支援を立案しています。保育士が中心となり日々の活動プログラムを提案し実施、その後PDCAを行いより良い活動ができるよう工夫しています。子どもたちの通っている学校との情報交換会を毎年開催しており、学校の教育支援計画を個別支援計画に反映させるなど統一した支援を目指しています。	様々な専門職員が活動プログラムを提案できる仕組みを作っています。多職種の視点が重要だと考えています。また個別支援計画は更に具体的な立案を目指していきます。
2	保護者支援に力を入れています。	連絡帳やお迎えの時間を大切に、保護者の困りごとや悩みを伺っています。こえだで解決できることはすぐに対応を行い、関係機関との連携が必要と判断されるものは相談支援専門員へ情報共有を行い、速やかに対応を行っています。	引き続き、安心して相談していただける雰囲気づくりを大切にしていきます。ご家庭だけで悩まず、一緒に子どもたちの成長に伴走していけたらと思います。
3	基準より多く、児童指導員を配置しています。	児童指導員を加配で配置しており、より手厚いサポートができる体制を整えています。個別に応じた活動プログラムを提供することができています。また安全面でも見守りの目が行き届いています。	ケアニーズに応じ、余裕のある人員配置は継続が必要と感じています。また様々な視点を持った支援を行うことで、気付きを得ることができ、より良い支援の提供につながると期待しています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のハード面に課題があります。	トイレ、洗面所、台所が廊下を通らないといけないため、不便に感じる場合があります。また冬期間は寒さ対策が必要です。駐車場に傾斜があり、使用のしづらさがあります。	事業所としてすぐに改修を行うことは難しいと感じます。暖房器具やその他必要不可欠である物品を整え、対策していきます。誘導を行うなどし、安全に駐車ができるよう配慮します。
2	支援の資質向上を目指していきます。	障がい特性、放課後等デイサービスの役割について、更に資質向上が必要だと感じています。	専門性、経験年数に合わせた研修の受講を推進していきます。受講した研修については伝達研修を行い、理解を深めていきます。統一した支援が必要であることから、毎日のミーティングを充実させ、資質向上を行っていきます。
3	非常時の対応についてしっかりと説明していきます。	非常時の対応、身近な災害などの安全面について周知が不足していると感じます。	保護者会やお便りを通じ周知徹底を行い、職員間でも訓練や避難想定などを話し合っていきます。